



# 第3回親守詩高知県大会

平成28年(2016年)10月30日(日) 五台山・竹林寺にて開催



## 言葉をつなぐ 心をつなぐ 親子をつなぐ



日時：平成28年10月30日(日) 13:00~15:00 会場：五台山竹林寺・四国霊場第三十一番札所(高知市五台山3577)  
 内容：親子で奏でる絆の音~北添紫光さんのマールによるパーカッションライブ、高知親守詩コンクール入賞者表彰式  
 参加：126名(受賞者およびご家族、来賓、演奏者、事務局スタッフ 含む)  
 主催：TOSS高知 共催：日本教育文化研究所高知支部 TOSS南国free-way  
 後援：高知県教育委員会 高知市教育委員会 南国市教育委員会 安芸市教育委員会 香南市教育委員会 香美市教育委員会 いの町教育委員会  
 高知市 香南市 高知県社会福祉協議会 高知市社会福祉協議会 高知新聞社 毎日新聞社 KSSさんさんテレビ 一般財団法人親学推進協会

### 応援メッセージ

(メッセージの一部を割愛しています)

#### ■衆議院議員 中谷 元 様

親子のコミュニケーションを密にする為には、お互いに大切な存在である旨を言語化することが大切であり、親守詩は双方の想いを確認し合うことが出来る素晴らしい文化であると存じます。



#### ■高知県議会議員 浜田 豪太 様

何かと慌ただしい今の時代だからこそ、「親守詩」を通じて親子が互いに向き合い、親子の絆と愛情を深め合う素晴らしい機会であると存じます。



皆様のあたたかい応援、本当にありがとうございます

#### ■高知市議会議員 浜口 卓也 様

親子で詩を詠み合うというのは少し気恥しいかもしれませんが、しかし、これがいつの日かよい思い出になり、ふとしたときに思い返す日が訪れるでしょう。



#### ■香南市議会議員 宮崎 晃行 様

親子の心の触れ合いの深さは、決して、時間の長さだけで決まるものではありません。一生懸命の生活の中で詠んだ親守詩は、親子の絆を深め、家族の人生の勝利の姿を示していると思います。



■一般財団法人親学推進協会 会長 高橋 史朗 様  
 親守詩の普及発展が、親子の絆や日本人が昔から持つ美しい心の涵養につながりますことを心より祈念いたしております。

■高知県議会議員 田中 徹 様  
 少子高齢化や働き方の多様化、核家族化の進行などにより人々の生き方や暮らし方が多様化する今日において、親子の絆がしっかり結ばれ、子どもの情緒が安定することは、何よりも重要であります。

■高知市社会福祉協議会会長 吉岡 諄一 様  
 第三回親守詩高知県大会が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。短歌の心地よい韻文の流れに乗りながら、親子の心温まるコミュニケーションを紡ぎ出すこの取り組みは、子どもの健やかな成長を支える大切な役割を果たしていると思います。

■高知県教育委員会事務局小中学校課長 長岡 幹泰 様  
 親の思いを、子どもの心を言葉にして家族に贈る親守詩の取り組みは、親子・家族の絆をより深くし、また、言葉の大切さを認識する、価値高いものと思います。

■安芸市教育長 森田 直志 様  
 第一回大会が当安芸市で開催されましたが、その時に披露された作品は、まさに~言葉をつなぐ・心をつなぐ・親子をつなぐ~にふさわしいもので聞いている方も心が温かくなりました。

■高知市郵便局長 山田 正雄 様  
 親守詩は、親子のキャッチボール短歌を通じて~言葉をつなぐ・心をつなぐ・親子をつなぐ~を目的として、普段なかなか表せない感謝の想いなどを言葉で伝える心温まるすばらしい取り組みとお伺いしています。

心温まる作品の数々・・・  
第3回親守詩コンクール受賞作品

〈親学推進協会賞〉

【連歌の部】

おかあさん いつもべんとう たのしみだ  
フタをあけるのを かんがえこり 佐古小学校2年 東岡 蒼空

すきなもの かぞくみんなの わらいごえ  
あなたの笑顔が 私の宝 山田小学校2年 岡本 莉奈

〈親学推進協会特別賞〉

【親守詩日記】

芸西中学校3年 河野 想  
赤野小学校6年 河野 心温  
母親 河野 紀代

〈TOSS高知賞〉

【定型詩の部】

おばあちゃん あついなか テニスがんばってね  
野市小学校1年 一浦 煌生

すきやきが おいしかった ごちそうさま  
野市小学校1年 今田 壮吾

おかあさん りょうまのさとで がんばってねー  
佐古小学校1年 仲井 陸将

赤面で 感謝の言葉 母笑顔  
岡豊高校3年 山口 慶悟

〈竹林寺賞〉

【連歌の部】

おかあさん だいすきだから てっとうよ  
すなおなきもち ははたすけられ 山田小学校1年 宮崎 日南子

アドバイス もらって練習で 生かそうか  
夢に近づくと 一歩を踏み出そう 赤野小学校5年 高橋 柊羽

【連歌コミュニティの部】  
ミヨウバンはキラキラ光るシャネルリア  
赤野小学校6年 河野 心温  
自分を信じて 何でも挑戦  
理科の外部講師 宇田 英一

〈清水寺賞〉

【定型詩の部】

そらのさんば いこうね おじいちゃん  
野市小学校2年 北川 葵菜

〈清水寺賞〉

【連歌の部】

おなかでね へそからみたよ そとのけしき  
こどもからしる いのちのさずな 高須小学校2年 荒木 美咲

じいちゃんお 家にまいあさ いってきます  
元気な声に 力が湧くよ 山田小学校2年 岡本 莉奈

〈高知県教育長賞〉

【定型詩の部】

大すきだ おじいのがお 日本一！！ 野市小学校1年 畑中 那月

〈高知市長賞〉

【定型詩の部】

反発し 初めて聞いた 母の本音  
岡豊高校3年 大北 いつき

〈香南市長賞〉

【定型詩の部】

工場で 長い時間 ばくさびしい  
佐古小学校3年 芝 悠希

〈高知市教育長賞〉

【定型詩の部】

ふろあらい まめいっぱいので ありがとう 稲生小学校1年 中澤 優輝

【連歌コミュニティの部】  
算子ヤレで 毎日協力 うれしいな  
いつも見てるよ 君のガンバリ  
赤野小学校 5年 高橋 柊羽  
赤野地区在位 細川 香野子

〈安芸市教育長賞〉

【定型詩の部】

父と母 愛をどどける ぜったいに  
赤野小学校4年 服部 翔龍

【連歌の部】

しょうらい なになろうか みみのゆめ  
ひかりかがやく あなたのみらい  
上手に アイロンビーズ できました。  
また一緒に 作ってみようい  
安芸第一小学校3年 松本 美々  
芸西中学校1年 岡林 泰輝  
赤野地区在位 尾木 有里子

〈香南市議会議長賞〉

【定型詩の部】

おばあちゃん 地しんに負けず 元気でね  
野市小学校4年 大見 はるか

またこんど きれいなメロディ 聞かせてね  
野市小学校4年 北岡 瑞妃

【連歌の部】

お母さん おいしいごはん ありがとう  
そういうえがお わたしのごちそう  
佐古小学校1年 今津 遼大

〈審査員特別県議会議員賞〉

【連歌の部】  
 おとうさん おしごといつも ありがとう  
 かんしゃのこぼれ げんきがたよ  
 長岡小学校1年 藤岡 竜健

おとうさん 夜おそいから しんばいだ  
 君の寝顔 疲れもふきとぶ  
 福生小学校5年 大久保 遙花

〈審査員特別市議会議員賞〉

【定型詩の部】  
 懐かしき 買い物帰りの 温かな手  
 岡豊高校3年 西野 悠斗

【連歌の部】  
 あさごはん からだのスイッチ 入れたいな  
 まかせてちょうだい あかきみどりね  
 安芸第一小学校1年 渡邊 陽翔

〈オート・インフォ高知賞〉

【連歌の部】  
 おじいちゃん あそんでくれて ありがとう  
 あそびづかれも いいおもいでだ  
 佐古小学校1年 朝倉 玲

【連歌コミュニティの部】  
 はじめての ミヨウパン作り きれいだな  
 初体験は うれしいものですよ かつたね  
 赤野小学校6年 山下 ゆうき  
 理科の外部講師 宇田 英一

〈有光自動車賞〉

【定型の部】  
 おとうさん とさどきビールのまないで  
 佐古小学校3年 横川 葵泉

【連歌の部】  
 きれいだな ダイヤみたい な ミヨウパンが  
 すてきな笑顔も ダイヤに負けない  
 赤野小学校6年 服部 愛奏  
 理科の外部講師 宇田 英一

〈高知市社会福祉協議会 ほおちよけん賞〉

【定型詩の部】  
 夏祭り 一しよに行こうね おじいちゃん  
 おかあさん けんけつやつて ひとだすけ  
 野市小学校4年 小串 歩実  
 朝六時 まな板響かす 母の横顔  
 佐古小学校2年 豊永 瑛菜  
 岡豊高校3年 上村 彩花

【連歌の部】  
 背くらべ 一つの間にやら 母超して  
 嬉しくもあり 淋しくもあり  
 岡豊高校1年 池添 真子

〈高知中央郵便局賞〉

【定型詩の部】  
 おとうさん かぜひかないで がんばって  
 朝六時 ボンと置いてる 弁当箱  
 夕食に 心が躍る 帰り道  
 佐古小学校2年 田本 真凛  
 岡豊高校3年 榎尾 蓮  
 岡豊高校3年 中尾 亜結実

〈コッコ・サン賞〉

【連歌の部】  
 おとうさん おやすみのひは あそんでね  
 いままで聞ける うれしいことば  
 おじいさん おこしがいたい かわいそう  
 そのひとことが おくすりになる  
 かあさんと おふるにいつも はいりたい  
 ないしよのはなし ゆつくりしよう  
 おかあさん あかちゃんみたいだっして  
 こちおいでよ よしよし あかちゃん  
 やめてよね おおもりごはん たべれない  
 ママのあいじよう やまもりごはん  
 おとうさん おさけのみすぎ きをつけて  
 さようはむぎちゃで かんばいしよう  
 あとむ幼稚園 藤本 瑠那  
 あとむ幼稚園 中田 雄大  
 あとむ幼稚園 大西 光結  
 ひまわり幼稚園 小原 基暉  
 ひまわり幼稚園 矢守 由依  
 ひまわり幼稚園 奥代 知花

〈日本教育文化研究所高知支部賞〉

【連歌コミュニティの部】  
 がんばるぞ 丸つけたいへん 先生だ  
 未優ちゃんにたくさん丸つけた  
 赤野小学校4年 尾本 未優  
 外部講師 石川 香織

上手にね ミヨウパン結しよう 仕上がった  
 君の努力が 光る結晶  
 赤野小学校6年 吉川 瑠偉  
 理科の外部講師 宇田 英一

かれんちゃん お話聞いてくれてありがとう  
 いつでもどこでも 聞いてあげるよ  
 赤野小学校4年 岡林 呉良  
 赤野小学校5年 細川 花恋

【連歌の部】

おとうさん またさかなつりに つれてって  
 早起きだけは 男の時間  
 佐古小学校1年 小松 利生

〈みんな仲よしファミリア賞〉

【定型詩の部】  
 おばあちゃん おいしいレモンそだててね  
 野市小学校2年 中澤 幸太郎

【連歌の部】  
 おかあさん いつもしごとを ありがとう  
 ごにんのために がんばります  
 福生小学校3年 山川 唯斗



# 第3回親守詩高知県大会126名の参加者、517作品の応募で盛会にて終了!

日時：平成28年10月30日(日) 13:00~15:00 会場：五台山竹林寺・四国霊場第三十一番札所(高知市五台山3577)  
主催：TOSS高知 共催：日本教育文化研究所高知支部 TOSS南国free-way

## 1. 竹林寺にて開催

第3回親守詩高知県大会が高知市の竹林寺にて開催された。申し込み家族96名、演奏者5名、スタッフ9名、日本教育文化研究所高知県支部1名、来賓10名、一般5名の合計126名の参加者が集い、表彰式が行われた。

今回は、表彰式前に、パーカッションライブが行われ、会場が一気に温かな雰囲気包まれた。ライブ中、親子で盛り上がる姿がとても微笑ましかった。

表彰式では、子から親へ、親から子へ「感謝の気持ち」や「愛情」を「ことば」で表した親守詩を披露。子供も親も自らを振り返ることで、「親子の絆」を深めた。



## 2. 講話

竹林寺住職から人の生き方に関わる素敵なエピソードを紹介していただき、会場から何度も感動の涙が溢れた。住職に人間の生き方の原理原則を説法していただいた。

## 3. 表彰式

20の賞が会場にて表彰された。親子で詩を読みながらの授与となった。

## 4. 閉会式

中谷議員が講評の中で、3つの詩を詠んで下さった。素敵な詩に、参加者一同の心は奮えた。

これからも 親守詩を続けられ  
みんな仲良く 世界の平和

どの詩も玄派で優しく温かい  
点をつければ百点満点

素晴らしい 歌の数々 ありがとう  
聞かせていただき 胸熱くなる



大会後、中谷議員が親守詩を書いた色紙を送ってくださった。

## 【来賓の皆様】

中谷 元 様 (衆議院議員)  
浜田 豪太 様 (高知県議会議員)  
浜口 卓也 様 (高知市議会議員)  
宮崎 晃行 様 (香南市議会議員)  
山田 正雄 様 (高知市中央郵便局長)  
小谷 由見 様 (安芸市立赤野小学校長)  
中西 弘行 様 (高知市社会福祉協議会事務局次長)  
久武 康朗 様 (日本文化研究所高知支部委員長)  
海老塚 和秀 様 (竹林寺住職)  
野島 充 様 (安芸市清水寺住職)



## 【参加者の声】 <子どもたち>

- ・楽しかったのでまた2年生のときも来たいです。
- ・住職さまのお話が心に残ります。お話を聞きおじいちゃんのがに気になります
- ・緊張したけど来てよかったなと思いました。
- ・自分の書いた親守詩が表彰されてうれしかった演奏が楽しかった。

## 【参加者の声】 <保護者>

- ・子供とふれあいが出来ている様子が、歌で良くわかりました。初めての参加でしたが楽しい時間でした。孫の成長もとてもうれしかったです。
- ・すべての詩を聞き「よし、これからは子育てがんばろう」とあたたかい気持ちになりました。ありがとうございます。
- ・子どもさんの素直で素朴な詩が嬉しくて温かい気持ちになりました。ありがとうございます。
- ・今回は、賞をいただきありがとうございます。親子などの連歌を聴き、子どもが成長したら連歌にもチャレンジしてみたいと思いました。
- ・初めて参加させていただいてとても素晴らしい取組だということに改めて実感いたしました。このような取り組みが更に広がればいいなと思います。
- ・素敵な音楽と心に染みるお話を聞いたことに感動しました。ここに連れて来てくれた子どもに感謝します。

第4回親守詩全国大会 平成29年(2017年)2月19日(日) 東京にて開催 <http://oyamoriuta-zenkoku.jp/>



TOSS (Teachers' Organization of Skill Sharing) は、日本の「家庭教育」をより良いものにしていくために、「日本の伝統的な子育て」を見直したり、親子の絆を再確認する「親守詩(おやもりうた)」の普及に取り組んでいます。特に、子が親に向かって五・七・五を詠み、親が返事として七・七を詠む、親子合作の「親守詩」は、全国各地で取り組まれ、感動を呼んでいます。

